

正則小学校では、「学び合う力」を育てるために、国語の「聞くこと」「話すこと」を他の教科で生かしたり、算数で自分の考えを絵や図・文に表したことを発表したり友達の考えと比べたりすることで、学力の向上に努めています。さらに、話し合いの中で、よりよい考えを作り出せるよう対話を大切にしています。また、基礎学力を高めるために、個に応じた指導や朝の時間に国語の「漢字」「語句」「読む」学習に取り組んでいます。さらにご家庭と協力することにより、より一層、子どもたちの力を高めていきたいと考えています。

家庭での学習を習慣化しよう

◆ 学習時間のめやす

5・6年生… 60分以上

◆ 学習のやくそく

- ・ 毎日、自分が決めた時刻に机に向かう。
- ・ 1日の家庭学習の時間を決める。
- ・ 机の上には学習用具だけをのせる。
- ・ ものを食べながら、勉強をしない。
- ・ テレビや音楽を消して勉強する。
- ・ 次の日の時間割や学習準備を自分でする。

◆ 学力アップは規則正しい生活から

- ・ 学校からのお便りや連絡などを必ず家の人に渡す。
- ・ 家に帰ったら、早めに宿題をすませる。
- ・ 毎日10分以上、読書をする。
- ・ 身の回りの整理・整頓は、自分でする。
- ・ 家族の一員として、手伝いをする。
- ・ テレビやゲームは、時間を決めて、短めに。
- ・ 早寝（遅くても10時までに寝る）・早起き・朝ご飯

◆ 学習の進め方

- ・ 学校からの宿題（ていねいな文字で書こう！）
- ・ 自主学習（毎日こつこつ続けよう。継続は力なり！）
- ・ 読書（家庭で読書をする習慣を身に付けよう！）



家の方へのお願い

考える力が大人なみになり、時には反抗的な態度も見られるようになります。一方、学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、先生や家族の言葉がけが大切になります。また、生活のリズムの乱れは、学習にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、生活を整えることが大切になります。

「やればできる」という気持ちをもたせ、子どもの自尊感情を高めるように、褒めたり励ましたりしましょう。

自主学習の仕方

国語

1 音読

- ・ 今学習しているところを情景を浮かべながら感情を込めるなど、めあて（何に気を付けて読むのか）を決め、表現豊かに声に出して読みましょう。
- ・ 練習したら家族に聞いてもらい、音読カードなどに読んだしるしを付けましょう。
- ・ 詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりしましょう。

2 漢字の練習・言葉の意味調べ

- ・ 今までに習った漢字を、ノートなどに何度も練習しましょう。
- ・ 短文づくりにも取り組みましょう。

3 力試し

- ・ 練習し終わったら、自分で小テストなどを作り、テストするつもりで覚えているかどうか確認しましょう。
- ・ 国語・漢字辞典を使って、意味や使い方の分からない言葉や漢字を進んで調べましょう。
- ・ 関係のある言葉や同じ部首をもつ漢字などを調べて書き出してみましょう。

4 日記・作文

- ・ 題名をつけて、習った漢字を使って書きましょう。
- ・ その日の出来事だけでなく、調べたこと・思ったことなども書きましょう。
- ・ 書き出しを工夫しましょう。

例 ・ 会話文(「 」)から ・ 音から ・ したことから ・ 様子から ・ 思ったことから など

5 読書

- ・ いろいろな種類の本を読みましょう。（物語・伝記・自然科学など）

6 視写

- ・ 豊かな表現力を身に付けるために、教科書の文や詩をノートなどによく見て写しましょう。



算数

1 授業で学習した内容の復習

- ・ その日の算数やスキルタイムで学習したことを、家でもう一度やり直してみましょう。
- ・ まちがえたときは、「どうしてまちがえたのか」考えましょう。まちがえた問題は、よくにた問題をくり返しやってみて、まちがえずにできるようになるまでやり直しましょう。
- ・ 自分の解き方(考え)を式だけでなく、文も使って分かりやすく書いてみましょう。

2 プリントやテスト問題

- ・ プリントやテスト問題を使って、もう一度解いてみましょう。
- ・ まちがえた問題は、何度もくり返し練習しましょう。



理科・社会

1 授業で学習した内容の復習

- ・ 大事なところに線を引ながら、教科書や資料集を読み直しましょう。
- ・ 大事な語句を中心に、教科書やワークなどの内容をノートにまとめてみましょう。

その他

- ・ ローマ字で入力したり簡単な英語を話せるようにしたりしてみましょう。
- ・ 次の時間に学習するところを読んで、予習してみましょう。
- ・ 分からない内容や興味のあることは、図鑑や事典・インターネットでも調べてみましょう。
- ・ 鉄棒やなわとび、ジョギング、腕立てふせ、腹筋など、体力づくりにも挑戦しましょう。
- ・ 上にかかれていない学習を自分で考えてするのもよいですね。